

パブリック・コメントでの全意見一覧：計 4 4 4 件

■計画全体（31件）

整理番号	意見要旨
1	「共汗」という言葉を行政計画の中で用いることは不自然である。適切に「協働」を用いられたい。
2	「共汗」という言葉の使用は、行政計画に用いるには問題があるので「協働」に置き換えてほしい。
3	交通問題、地元自治の活性化、観光振興について、具体的な実行計画を、簡潔に取りまとめるべきである。
4	10年前より後退している内容だ。市内行政各区の中で高齢化行政区になりつつある状況に対応した検討が必要だ。
5	パブリック・コメントについては、注釈が必要である。
6	「誰もが生まれてきてよかった、生んでよかったという幸福感を持てるふるさと山科」であるよう切望する。
7	各項目に関する統計分析など、山科区の特徴をもっと反映してほしい。
8	各領域別の議論の深まりが見えない。策定委員会等で論議したことが消えてしまっているのではないか。
9	観光が大きく取り上げられていることに違和感を感じる。交通渋滞緩和策などがあつての観光誘致ではないか。
10	区独自財源の確保を可能となるよう国に働き掛け、将来的には、自律する行財政区となっていくべきである。
11	具体性が欠如していてイメージが湧いてこない。期待が持てる未来を語ってほしい。
12	計画書を十分印刷し、希望者に確実に配布されたい。
13	計画等を区民に告知する際の手法に工夫が必要である。
14	現行基本計画との関連性、継承性を示してほしい。
15	広告収入を得ながら経費を軽減させ、計画の冊子をできるだけ多くの人に読んでもらえるようにしてほしい。
16	行政の最高目標として、住民福祉の向上や福祉社会づくり等がある。こうした基本理念を掲げるべきではないか。
17	高齢期の生活支援や地域のつながりについて、市財政の危機などの実態も踏まえて、更に具体的な内容としてほしい。
18	高齢福祉施設や関係事業者の委員はなく聞き取り団体にもなっていないのは納得いかない。
19	今すぐに対応する計画と、先を見た計画とを合わせて夢のある山科を目指す。
20	策定委員の主な意見をもっと反映させてほしい。
21	山科は地理的に京都中心部から離れているので、「京都らしさ」とらわれないことが大事である。
22	山科らしい、区の独自性のある計画・冊子にしてほしい。
23	山科区を大津市に編入させて、コンパクトな京都市にしてはどうか。
24	事務事業を記載し、行政の行うことが具体的に分かるように図られたい。
25	写真やマンガを取り入れて小中学生にも分かりやすいよう工夫してはどうか。
26	若い人や子どもの意見を集めるべきである。
27	取組を短期・中期・長期に分け、進ちょく管理しやすくする方がいい。
28	制度を利用する側の意識の改革や、介護等に向き合って学び、ボランティア等の実践者となっていく若い世代を育てるためにも、介護問題を前に出してもらいたい。
29	福祉、障がい、子ども、教育等の分野を前に出すべきではないか。中学生問題に本気で取り組めないか。
30	片仮名言葉が多いので、なるべく少なくなるよう、適切に使用されたい。
31	例えば「教科書副読本に山科の環境問題を詳しく解説し……」など、個別の施策内容を現実に即して提起されたい。

■はじめに（3件）

整理番号	意見要旨
1	京都市基本構想においては、縦割りの考えを改める必要がある。
2	京都市基本構想を踏まえて、（近畿の）府県レベルの計画の内容も改めていくべきである。
3	「融合」の説明が分かりにくい。

■山科区の将来像（15件）

整理番号	意見要旨
1	グラフを見やすくする工夫が必要である。
2	将来像は最も重要であるが、抽象的である。具体的で実行可能な項目とする必要がある。
3	山科の特徴である自治力や高齢者の力を生かして、ワーク・ライフ・バランスを意識したまちとすべきである。
4	今後のまちづくりがソフト整備に移行する趣旨の記述があるが、山科区においては、まだまだ基盤整備が必要である。
5	生活利便性が高まったのは山科駅以南だけであり、山科北西部地域の旧来の利便性はかえって失われた。
6	山科に住んでいることに、子どもたちが誇りを感じられる「何か」を作してほしい。

7	道路基盤への投資は依然不十分であり、観光などに力を入れるというのは許されない。
8	まちづくりは住民が主体である。
9	区民参加の原点として、キャッチフレーズを毎年募集してはどうか。
10	山科の先行きが暗い。
11	山科村という区民の心が大切である。
12	水と緑だけでは困る。
13	東山科地区、西山科地区など大きな地区編成が必要
14	里山を手入れして子どもが遊べる空間をみんなでつくる。
15	歴史的文化的資源とは、お寺等を指すのか？

■基本施策ごとの取組（1 環境：48件）

整理番号	意見要旨
1	「ホテルの環境を守る」について、既に取り組んでいる具体例を載せた方がいい。
2	小関越えハイキングコースのPR、山科疏水通りの充実などの事業を実施してはどうか。
3	環境にやさしいまちづくりを望む。
4	既に行われている「ホテルの生育環境を守る」取組を、写真などを使って紹介してはどうか。
5	区民の行動を喚起するためには、数値や例を示して課題を提起し、改善への協力を求めるよう表現する必要がある。
6	「花いっぱい運動」だけでなく「グリーンカーテン運動」も記述する方がいい。
7	「花いっぱい運動」のほかに「グリーンカーテン運動」を加えてはどうか。
8	ホテルが減少している。
9	ホテルの飛び交うまちづくりのため、大塚地区の音羽川上流や藤尾川の整備をしてほしい。
10	もっとホテルの飛ぶまちになってほしい。
11	鮎の泳ぐ川になってほしい。
12	音羽夢広場にたばこの吸い殻が多い。
13	河川堤防を、まちの水・緑の資源として有効に活用するため、近隣住民による不法占拠を排除する必要がある。
14	花の楽園をつくってほしい。
15	公園が少ない。
16	公園が少ない。
17	公園が少ない。また、ボール遊びできる公園がない。
18	公園でのボール遊び規制の緩和を望む。
19	公園など公共の場でのペットのフンの不始末など飼育マナーが悪いので、罰則を設けるなどしてほしい。
20	公園には手足を洗うことができる設備が必要である。
21	公園を増設するとともに、トイレ・水道・遊具等の設備を充実させてほしい。
22	砂場の衛生状態に安心できない。
23	山科川での鳥の撮影マナーが悪いため、対策してほしい。
24	芝生でくつろげる公園を設置してほしい。
25	将来的には、エコランド音羽の杜を公園としてほしい。
26	震災時に河川の水を飲用とできなかった経験から、飲めるほどきれいな川を再生しようとして発した活動だという意義を大切に、蜚問題を住民の問題として考えていくべきだと思う。
27	川沿いや勸修寺公園を、家族連れが楽しめる公園として整備してはどうか。
28	疏水沿いの公園の水道に蛇口がないのが不便である。
29	疏水歩道の木製ベンチが適切に維持管理されていないので、継続的な維持管理に努められたい。
30	太陽ヶ丘や宝ヶ池公園のような、家族が車で出掛けられる大きめの公園を整備してほしい。
31	藤棚など、公園に日よけを作ってほしい。
32	乳幼児がちょっとした水遊びをできる場所がほしい。
33	乳幼児用の小さな滑り台がありがたい。
34	様々な人が気ままに集い楽しみ、心癒されるような大規模な公園を整備してほしい。
35	陵ヶ岡学区に公園を整備してほしい。
36	環境配慮型住宅や新エネルギー利用について、税制など費用面での優遇制度を拡充してはどうか。

37	山科青少年活動センターで、ペットボトルキャップの回収をしてほしい。
38	地下鉄など公共交通機関の利用促進を図る必要がある。
39	「活動のイメージ/区民」の欄に「事業者（会社や店舗）による門掃き」について入れてはどうか。
40	2万人まち美化の参加者が、清掃時に道路に広がっている。交通ルールを守るよう、指導されたい。
41	まちにごみ箱がない。
42	近隣に木片や土を穴に捨てに行っている人がいるが、不法投棄ではないのか。
43	市中心部で行われた七夕祭りを参考に、山科の川を再生してはどうか。
44	資源を有効利用するために、ごみの分別を細分化するべきである。
45	家庭ごみの深夜回収化と民間委託化は、市民生活の多岐にわたって利点がある。山科区で試行導入してはどうか。
46	清掃活動を増やしてはどうか。
47	川にごみが多い。
48	次世代へのアピールが重要である。

■基本施策ごとの取組（2 まちの魅力・観光：89件）

整理番号	意見要旨
1	山科区民には、“もてなし力”が十分に備わっていない。観光地の周辺住民だけでも、協力的になってほしい。
2	おこしやす“やましな”協議会の組織を拡大させるべきである。
3	山科の観光名所を巡るスタンプラリーを実施してはどうか。
4	山科財界、商店会等力を結集し、民間の力を活かして、車での入浴者を「玄関」でキャッチするため、三条通または五条通の、東インター手前に「道の駅」を整備してほしい。
5	住民は山科の自然環境・交通の便などに満足しているが、他区の人々の山科への評価が低い。
6	「そうだ、京都へ行こう」のポスターに、山科の魅力資源を起用してはどうか。
7	「山科歴史・文化資料館」を整備してほしい。
8	『山科歴史・文化大事典』や『史料・山科の歴史（総集編）』の編纂を行ってほしい。
9	JR山科駅前を山科観光の玄関口として見直し、タクシー乗り場を廃止して広場にしたい。
10	KBSのキャラクターと、もてなすくんとのコラボをしてはどうか。
11	小関越え、桜の馬場等については、手入れすることによって、区の魅力資源として磨いてほしい。
12	コンビニに山科・醍醐のマップを置いてはどうか。
13	まちの魅力を高めるため、大河ドラマや映画を誘致してはどうか。
14	もっとたくさんの「もてなすくん」グッズを作ってほしい。
15	もてなすくんグッズを早期納税等の特典に利用してはどうか。グッズも充実させてはどうか。
16	ゆるキャラグッズを作成してはどうか。
17	花火大会など、楽しいイベントを開催してほしい。
18	勸修寺、随心院を恋・美に効く「パワースポット」として紹介してはどうか。
19	観光センターを設置してはどうか。
20	観光基盤の整備に山科駅周辺地区の拠点性の強化と言うのは具体性に欠ける。まず、駅前再開発の修正、次いで駅北側の整備を行うべきである。
21	観光事業に力を入れ、雇用創出につなげてほしい。
22	観光名所を巡るスタンプラリーを実施してはどうか。
23	旧東海道追分宿等のPRをしてほしい。
24	京都駅八条口から稲荷山トンネル経由で大石神社、山科区役所前から橘大学などに抜けるバス路線を設定してはどうか。
25	区のキャッチフレーズを入れた陶灯路によって、PRをしてはどうか。
26	区のキャッチフレーズ入りの携帯ストラップを作成してはどうか。
27	区のキャッチフレーズ入りの扇子を作成してはどうか。
28	区内の神社の連携・協力のもとで、神輿の巡行などのイベントを実施してはどうか。
29	区版の携帯HPを作成し、山科情報を発信してはどうか。
30	公共施設を北（山科駅周辺）に移してはどうか。
31	桜と紅葉を増やしてはどうか。
32	山科に関する資料収集・保管・活用の拠点となる、公立の文化資料館の整備について明記してほしい。
33	山科のマスコットキャラクターがあればいい。

34	山科の悪いイメージを変えるため、刑務所の移転による大学誘致などシンボリックな事業が必要である。
35	山科の唄や踊りを作ってはどうか。
36	山科の魅力を、もっと発信すべきである。
37	山科の魅力を写真で訴える本や冊子を作成・配布してはどうか。
38	山科ブランドの確立が求められる。
39	山科をよく知るボランティアが主体となって観光案内をしてはどうか。
40	山科駅に降り立ってすぐに分かるような、観光案内の設置が必要である。
41	山科版観光案内ボランティアの検定試験を行ってはどうか。
42	四ノ宮商店街が地下鉄の影響を大きく受けている。商店街はまちの担い手であり、その振興は真剣に検討されたい。
43	自転車及び歩行者専用（優先）の山科観光サイクリングロードを整備してほしい。
44	小野小町、坂上田村麻呂といった有名人ゆかりの地というアピールをしてはどうか。
45	赤穂浪士の話は復讐で人を殺した話である。子どもが学ぶ必要があるのか。義士まつりは必要ないのではないか。
46	多様な「もてなすくん」グッズを作製して、早期納税者へのお礼などに活用してはどうか。
47	東山科地区の機能を強化して、「京都の東の玄関口、山科」を着地型観光の新たな拠点とすべきである。
48	陶灯路を、区民が作って飾る取組を行ってはどうか。
49	陶灯路をもっと区外・世界にPRし、山科の産業等の活性化を図ってほしい。
50	道路・標識・トイレなど、観光にふさわしいまちとしての対策が不足している。
51	物産として、山科なすソフトクリームを作ってはどうか。
52	歴史を活かしたウォークマップを作成してはどうか。
53	随心院へのアクセス案内の表示を充実させるべきである。
54	「農空間の多面的機能」という言葉に説明が必要である。
55	キャラクターだけでなく、「山科なす」のアピールも必要である。
56	モノづくりの助成で雇用を安定させ、住み続けられるまちにする必要がある。
57	山科とうがらしを姉妹キャラクターにしてはどうか。
58	山科なすの説明が必要である。
59	山科の農業のPRが必要である。
60	市民農園のPRをしてほしい。
61	市民農園や山科青果卸売市場があまり知られていないので、もっとアピールなど工夫してはどうか。
62	小中学校の授業において、区内の農地を有効に利用してはどうか。
63	青果卸売市場のPRをしてほしい。
64	地産地消推進のため、農園協力のもとで「道の駅」を作り、山科の農産物を広くPRしてはどうか。
65	伝統産業、小売業者、飲食店が地域住民から必要とされ、後継者に引き継いでいけるように図る必要がある。
66	都市緑地の保全のために、固定資産税や相続税を免除される「特別生産緑地地区」を設定してはどうか。
67	農地と農業を生かしたまちづくりにおいては、藤尾地区の農家に御協力を頂きたい。
68	「ひと・まち 交流館」同様の、区民が活用しやすい活動の拠点の整備について明記してほしい。
69	いつでも文化を学ぶことができるよう機会を充実させてほしい。
70	コンサートホールか球場を整備してほしい。
71	各種講座や教室が中央に比べて極端に少ないので、増やしてほしい。
72	山科に小さくてもよいので映画館がほしい。
73	山科の歴史や書籍を集めて、年に1度くらい、図書館で区の歴史をテーマ別に展示してはどうか。
74	山科図書館が手狭なので、福祉・リハビリ部門の機能を他所に移動させてはどうか。
75	子どもと高齢者の交流の視点も含めて、小学校などで山科のまちの移り変わりについての学習活動を行ってはどうか。
76	大きなコンサートホールがほしい。
77	大学誘致により、地域活性化を図ってはどうか。
78	地域の情報を地域の人が知らない。
79	東部文化会館を山科駅近くに移転して、貸ホールとしての利用をやすくしてはどうか。
80	文化・芸術などを含め、発表する場所・修練する場所を充実させてほしい。
81	夜遊び禁止のため、中学生が地域のまつり等に行けない。校則を変更してほしい。

82	グラウンドが少年野球チーム等の独占利用状態となっているので、フリーの利用ができる時間帯をつくってほしい。
83	プールを作ってほしい。
84	プールを作ってほしい。
85	山科青少年活動センターにプール作ってほしい。
86	川を開放してほしい。
87	無料で利用できるプールを作ってほしい。
88	無料で利用できるプールを作ってほしい。
89	山科川、旧安祥寺川だけでも、府市協調で遊歩道をかねたサイクリングロードにすればどうか。

■基本施策ごとの取組（3 交通・都市基盤：117件）

整理番号	意見要旨
1	車の安全運転を促す看板の設置を望む。
2	まちなかは、車が多くまちなみも美しくない。観光客が歩いて楽しいような場所がない。
3	観光バス・ツアーバスへの通行税により、道路整備のための区独自の収入を得てはどうか。
4	京阪追分までを特別区間とし、地下鉄から乗り越しができるようにすれば、利用者増につながるのではないか。
5	交通局の経営安定に資するよう、福祉乗車証は、低料金に留めるものとし有料化されたい。
6	公共交通が十分に保障されていないためにマイカーや自転車を利用している場合がある。午後8時台のバスが必要。
7	利用者を増やし地下鉄による赤字を解消するために、具体的な対策を示されたい。
8	「稲荷山トンネル」は一般道と並走する高速道路ではなく、独立した道路である。有料は理解できない。
9	「信号がない」ことで、生活道路を抜け道利用する車がある。
10	171号から柳辻までを内環状道路となるよう接続すれば、五条バイパスの渋滞緩和になるのではないか。
11	JR沿線への遊歩道の整備や旧三条通のコミュニティ道路化などによって、旧三条通の安全確保をしてほしい。
12	JR線をくぐるレンガのトンネル3箇所の道路が極めて狭く、見通しも悪い。
13	ボトルネック区間の拡幅など道路環境を改善するために、「抜け道通行」をする車から通行料を徴収し原資を得てはどうか。
14	マツヤスーパー山科三条店の前の川を暗きょ化して、安全に通行できるようにしてほしい。
15	一方通行の道を増やしてはどうか。
16	稲荷山から比叡山、比叡山から愛宕山のトレッキングコースに携帯電話のアンテナを設置してほしい。
17	稲荷山トンネルの料金がいため、あまり利用されていない。
18	稲荷山トンネルを無料化して、利用の促進を図られたい。
19	何らかのルールを作って、五条通や外環等の交通渋滞を解消してほしい。
20	外環三条での渋滞解消のために、信号の改善が必要である。
21	幹線道路交差点における横断歩道配置について、歩行者・自転車の動線を考慮した改善が必要である。三条通歩道の路面不良、幅員狭小の改善が必要である。また、幹線道路と街路の信号のない交差点についての交通安全対策が求められる。
22	旧三条通が狭いため、時間帯ごとに一方通行としてはどうか。
23	狭い道が多く、歩行者や自転車の安全対策が必要である。
24	狭い道路が多く、道路にガードレールがないのが問題である。
25	狭隘道路拡幅事業により、狭隘道路区間の解消と歩道の整備に努められたい。
26	区内の道路空間整備の見通しを具体的に示す必要がある。
27	五条通り以北の山科川堤防道路の遊歩道道路を整備し、五条通り南の遊歩道と山科川の側道（または、トンネル）で連絡すれば、歩行者等にとって安全なルートができるのではないか。
28	交通安全対策を強化し、子どもが安心して歩ける山科区にしてほしい。
29	高齢者、障がい者も使いやすいように、道路を快適にすることが必要である。
30	高齢者の地域生活が可能となるよう、道路拡幅などにより、安全な生活道路を確保する必要がある。
31	区役所独自の税収源を創出し、生活道路の整備を行うことが必要である。「生活道路拡幅限定基金」を創設し、これに、残予算の半分程度、「転入時のマイカー持込み税」、区外の車の出入りに「ロードプライシン」、月極駐車場から市中心部相場との差額の「駐車場税」、道路拡幅に非協力的な地権者から「固定資産税・都市計画税の2～3倍増徴」などを、山科区限定、向こう25年限定（道路事情の改善状況で短縮）で行って充てればどうか。
32	山科川・安祥寺川・旧安祥寺川の両側に街灯付きの自転車道を整備してほしい。
33	山科川沿い歩行者自転車専用道について、バイクの進入禁止対策をしてほしい。
34	四ノ宮地区において、道路・歩道の整備や街路樹の植栽など早期に改善してほしい。

35	子どもと自転車を出掛けて安全に移動できるよう、歩道整備をしてほしい。
36	市が山科の道路問題の解決に向き合わないのであれば、区役所が独自に仕組みを作って財源を確保してはどうか。
37	自転車マナー講習会を、各学校で実施されたい。
38	車いすやベビーカーが通行しやすいよう、歩道の段差解消や不法駐輪の排除などに努めてほしい。
39	無料の駐輪場とコミュニティバスを組み合わせることで、放置自転車を減らせるのではないかと。
40	渋滞緩和のため、山科東野交差点の立体交差化を図ってはどうか。
41	信号のタイミングが早すぎる交差点がある。
42	新十条通・稲荷山トンネルの利用が低調なので、①音羽山に大津市に直結するトンネルの整備②阪神高速からトンネルを買い取り山科盆地に出入りする車に200円を課金③京都駅八条口と大石神社・柳辻・橘大学・醍醐を結ぶバス路線の設置、などの取組を検討してほしい。
43	水路の暗きよ化による道路拡幅が必要である。
44	昔からの道が狭いので、整備が必要である。
45	川の脇の道に柵の設置が必要である。
46	大津山科バイパスの早期着工を願いたい。
47	転入時のマイカー持込み税や駐車場税のような仕組みで、道路環境改善のための財源確保を図ってはどうか。
48	電線地中化などによって渋谷街道、大石道等を拡幅し歩道を整備してほしい。旧安祥寺川と渋谷街道の交差点は、信号無視が多く、子どもが事故にあう事例もあるので、移設されたい。
49	東インターチェンジによる地域分断、また、これに接続する幹線道路等における交通安全のための施設・配慮の不足が、長く地域住民の安全・安心と利便性を損ねている。
50	東山区で行われている狭隘道路拡幅事業を山科区にも適用し、歩道未整備箇所等の解消を図ってほしい。
51	道が狭い。
52	道が狭いため、ナンバーによる乗入規制などを行ってはどうか。
53	道路に、カーブミラーの設置が必要な箇所がある。
54	道路交通網が貧弱なため、幹線道路をはじめとした道路ネットワークの早期整備に努めてほしい。
55	道路整備が進まないまま、住宅整備が進んでいる。旧街道の拡幅整備など道路整備を行い、交通の便を充実させることが優先課題である。
56	道路問題が各基本施策に大きく関与する。将来の子どもたちのためにも、早急に道路の整備を行ってほしい。
57	農地の保全のため、新十条通の延長区間については、地下で建設してほしい。奈良街道側は側道がない。
58	保育園・幼稚園の送迎の車のマナーが悪いことで、特に三条通に面するアヴェ・マリア幼稚園と陵ヶ岡保育園では、交通安全に大きな問題がある。移転によって、改善を図ってはどうか。
59	歩行者と自転車が共存できるよう、十分に検討する必要がある。
60	新旧安祥寺川への遊歩道の設置と通行料や税金による整備費用の確保を図ってはどうか。
61	名神高速道路の路線バス停車場跡地は、トイレ等を設置のうえ、山科パーキングエリアとして有効活用されたい。
62	料金見直しを含めて、「稲荷山トンネル」をもう少し利用しやすくしてほしい。
63	路上駐車、違法駐輪が多い。
64	「稲荷山トンネル」を通過して伏見や南区へ抜けるバスルートの新設してほしい。
65	JR山科駅と小金塚方面を結ぶコミュニティバスを導入されたい。
66	JR西山科駅を新設してほしい。JRと京阪バスから地下鉄山科駅での乗り換えは地上ホームの京阪青電とすれば、バリアも少なくなって、京都駅から地下鉄烏丸線への乗り換えも山科に切り替わるのではないかと。
67	コミュニティバスの運行を増やしてほしい。
68	すべてのバスに車いす・ベビーカーのスペースを確保してほしい。
69	ノンステップバスの運行について、時刻表等に明示してほしい。また、増便されたい。子連れでの移動に極めて不便である。また、乱暴な運転も多いので改められたい。
70	バスをマイクロ化して走行回数を増やしてほしい。
71	バス路線の見直しが必要である。
72	レンタサイクルなど便利なアクセス・移動手段などの情報をホームページで発信してほしい。
73	京阪バスの上り下りのバス停場所が変則的であるので、改善してほしい。
74	区役所からバス1本で行けない地区もかなりあるので、社内で「乗り換え券」を発行して、均一料金で区内全域を移動できるようにしてほしい。
75	御陵駅では、1dayチケットや大津線の「古都湖都」が自販機で売っていない。
76	御陵駅の使い勝手、利用者動線の設計が悪い。改札口の適切な配置と設備等によって利用しやすくしてほしい。
77	交通局の1日、2日乗車券について、大人券だけでなく、小児券も発行してほしい。
78	交通問題の解決により、山科北西部地域の活性化、市中心部との格差是正を図る必要がある。

79	交通問題研究会にあつては、切実な意見を持っているであろう、社会人や学生の意見を反映させられるように、会議時間帯を見直したりネット上で議論したり、手法を工夫してほしい。
80	坂道が多いので、レンタサイクルを電動自転車にしてほしい。
81	山科、大津方面の旅客の誘導等のため、山科を含め京都市内全駅と亀岡、草津か野洲、小野あたりまでを、運賃の安い「電車特定区間」に含めることについて、周辺市町と連携しJRに働き掛けてはどうか。
82	四ノ宮地区は地下鉄ができて不便になった。交通費も割高になる。また、市バスに代わって京阪バスが運行しているが、ルートも数も不足だ。何としても善処してほしい。
83	終電と終バスの相互接続を図るとともに、京丹後市で行われている「上限200円バス」なども導入してはどうか。
84	渋谷街道を通るバスルートの新設してほしい。
85	小型のコミュニティバスや乗り合いタクシーを、ピストン運行やコース運行をさせて、既存のバス路線を補ってはどうか。運転経路やダイヤは試行を重ねて住民の生活動線に最適化するのがよい。
86	上限200円バスを導入や京都市中心部へのアクセス性の向上、終電終バスの接続などによって利便性の向上を図れば、バス利用者は増えるのではないか。
87	新十条通のトンネルを路線バスが通るようになれば、JR京都駅とのアクセスも改善できるのではないか。
88	地下鉄に割高感があり、区役所に来るのでさえ、利用しない。各種の割引や特別運賃などによる誘客を図ってはどうか。
89	地下鉄のカップルがうっとうしい。
90	地下鉄の経営と所有・債務を完全分離して経営のみ民営化することで、御陵での乗り継ぎ運賃と運営コストを削減できるのではないか。
91	駐輪場無料開放で、パークアンドライドの促進
92	土日の夜間にバスがないので、タクシーを使わざるを得ない。
93	東インター付近に用地があれば、パークアンドライドが実践できるのではないか。
94	東山トンネル付近と藤尾小金塚地区にJR駅を1駅ずつ新設し、山科駅から遠い地域での利用者増加を狙うことが必要である。
95	百々へのバスがない。新十条通のバスが山科駅を経由するようにしてほしい。
96	歩行者やシルバーカーを利用している高齢者が乗り降りしやすいバスの充実を望む。
97	路線バス事業への新規参入を認め、京阪バスが運行しにくいのが、市民の生活行動にかなった路線の開拓を促進すべき。
98	「京都市都市計画マスタープラン」がどういうものか、説明が必要である。
99	LED電球の使用など環境に配慮しつつ、防犯灯を増設する必要がある。
100	パチンコ店が多いことが、山科のイメージを悪くしている。
101	マンションを含めて、空き家が多い。
102	ラクト山科をリニューアルしてほしい。
103	観光スポット、特産品、地元のお店、建設業者などを紹介するスペースがあり、地元の中小業者を地域住民の間を取り結んで地域の文化を作る「山科商店街」を作ってはどうか。
104	京阪藤尾駅等の新設を望む。
105	御陵駅周辺の高齢化と、地下鉄開業による生活利便性の低下等を踏まえて、まずは同駅の全ての出入り口にエレベーターを設置すべきである。
106	山科の道は田んぼのあぜ道からあまり進化しておらず、大雨に対する防災面が不十分である。
107	子どものころに遊んだ田んぼが減少し、住宅に変わったことで、通風・景観等が悪くなった気がする。
108	小金塚・藤尾地区では、行政の管轄が異なることで、消防救急における連携等が全くわからない。
109	省エネに配慮しつつも、夜でも明るいまちがいい。
110	大きいショッピングモールがほしい。
111	地域ぐるみで災害への備えとして実施する、避難や消火等の訓練について、取組強化の必要がある。
112	東山の東面は、本来新景観政策のもとでの規制が適用されるべきではない。
113	道路・交通環境が悪い。軽自動車しか通れない幅員の箇所もあり、災害時の不安もある。
114	道路整備、都市基盤整備の遅れを反省するところから、今後のまちづくりを考えるべきである。
115	奈良街道沿いの伝統的建造物を保全するために、風致地区に指定してほしい。
116	防災面について、区民の「自助」の活動についての表現が弱い。
117	藤尾地区一追分地区にあつては、音羽病院の送迎バスが地域生活支援に貢献している。

■基本施策ごとの取組（4 保健・福祉・子育て支援：82件）

整理番号	意見要旨
1	共汗プロジェクト図中に、「保健センター」を含める必要がある。
2	待機児童数は平成21年度、平成22年度ともに0人なので、達成度が0人 → 0人 という記述になるのは妥当か？

3	「子どもは地域の宝」という文言を入れてはどうか。
4	妊娠中からの子育て支援，母子の保健サービス充実について加筆してほしい。
5	「げんきスポット0-3」のようなひろばがもっとほしい。
6	「子どもは地域の宝」という文言を入れてほしい。
7	すべての区民の協力のもとで，家庭・地域・学校などが互いに連携を深めて，社会の宝である子どもの安全を守るまちづくりを進める必要がある。
8	一時保育の場を増やしてほしい。
9	学童保育の年齢上限を引き上げてほしい。
10	学童保育の年齢上限を引き上げてほしい。
11	虐待の早期発見等ができるよう保育士研修の充実に努めるなど，保育所で余裕のある体制がほしい。
12	個人の産婦人科が少なく，選択肢が大病院に限られる。
13	山科区独自で子育て支援金を支給してはどうか。
14	山科区独自で子育て支援金を支給してはどうか。
15	児童館は，夏休みに学童の子ども達が1日中いるので利用しにくい。
16	児童館を無料で利用できるようにしてほしい。
17	小金塚は小学校が遠く，藤尾は中学校が非常に遠い。
18	小児科の情報が少なく，現在は口コミ頼みである。
19	統計上でなく実態として，保育所の待機児童を解消してほしい。
20	保育所の待機児童をなくしてほしい。
21	保育所を増設してほしい。
22	幼児教育の視点を大切にしたい子育て環境の充実を望む。
23	「ファミリーサポート」という事業名には，もう少し詳しい説明が必要である。
24	P26の共汗プロジェクトと重複するので，「青少年の健全育成」という観点の取組で記述する方がよい。
25	バイクを盗む，壊すなど，青少年の非行がひどい。
26	課題を抱えた青少年への対応を，迅速かつ適切に行うことが大切である。
27	山科団地などで非行少年によるバイクの暴走行為や喫煙がある。夜間パトロール強化などが必要ではないか。
28	子どもの非行があまりにも目立つので，その対策に力を入れてほしい。
29	青少年活動センターにゲーム・カラオケを置いてほしい。
30	青少年活動センターをもう少しきれいにしてほしい。
31	青少年活動センターを水曜日にも開館してほしい。
32	青少年教育について，家庭・学校・支援機関などの連携を確実にすることが大切である。
33	地域ぐるみの子育てのため，登下校時の子どもへの声掛けをしてはどうか。
34	非行や犯罪が起りにくいまちとなるよう，地域と学校が連携してパトロールするなどしてはどうか。
35	夜中にバイクが多い。
36	落書きが多い。
37	「家族への生活支援の充実」ということを明記するのは，非常に良いと思う。
38	「関係機関」として，「支援センター」を具体的に出してほしい。
39	「障がいのある中高生のタイムケア事業」の育成学級生徒や医療的ケアが必要な子どもへの適用拡大を図ってほしい。
40	障がいのある子どもたちの，卒業後の進路を確保してほしい。
41	障がいのある子どもとその家族の立場からは，学校長期休業中の子どもの居場所がないことに困っている。
42	障がいのある人の就労支援には，送迎バスなど移動手段の確保が必要である。
43	障がいのある人の就労支援には，同時に送迎バスのルートの特長など足の問題の解決も大切である。
44	障害者地域生活支援センターの記述を入れてPRを望む。
45	聴覚言語障害センターを山科区にも作ってほしい。
46	100歳以上の人の消息不明が問題になっている中，後期高齢者の生活実態についても調査が必要である。
47	シルバーセンターの充実を図りたい。
48	ピンピンコロリを目指した生きがいがづくり支援として，高齢者に仕事・収入があるような地域づくりを望む。
49	区独自で「定年の延長」を行ってはどうか。
50	民生委員の欠員補充ほか，行政と自治会の密接な連携のもとで，高齢期の生活支援に当たる必要がある。

51	陵ヶ岡学区など、高齢化率が高いのに地元スーパーがなくなるなどの状態にある。
52	アレルギー疾患に対して医療費の補助等を行ってほしい。
53	京都市休日急病内科小児科東診療所が来年3月廃止とのことだが、山科から休日診療所をなくすべきではない。
54	国民健康保険制度に問題があり、保険料負担が困難な人の健康が脅かされている。
55	山科区内にも、大学病院などを誘致してほしい。
56	予防接種の無料化を早期に実現させてほしい。
57	外国籍区民はどのくらい住んでいて、福祉的に行政的にどのように権利を守られているのか。同じ山科区の住民として考えていくことは何か。区外に、市外に、世界に広がりつながらる山科であるためにも国際問題を基本計画に掲げてほしい。
58	「人権を侵害されている、あるいは、されやすい人に対して、自己実現と社会参加を支援」は、そのとおりだと思う。
59	ベビーカーを乗せやすい、ノンステップバスを導入してほしい。
60	ユニバーサルデザインの普及、推進にあつては、ハード面の整備を強く望む。
61	案内表示は、日本語と補助的な英語で十分であり、自分たちの町名を外国語で表記することはとんでもないことである。
62	山科区では「住居表示制度」を取り入れ、すべての電柱と家屋に町名地番を示した板を取り付けるべきだ。
63	山科区で育った子どもが山科で働ける環境づくりをしてほしい。
64	給食費や学用品をなるべく無料にし、また、ボランティアによる放課後教室を開設してほしい。
65	ベビーベッド・授乳スペース・幼児用トイレなどについて、民間の事業者等への設置促進を図ってほしい。
66	駅など公共施設等にあつては、ベビーベッド・授乳スペース・幼児用トイレなどの設置を進めてほしい。
67	主要道路について、道路の段差を解消し、また、歩道橋をなくしていくべきである。
68	住宅困窮時に対応した住宅セーフティネットとして、住宅供給・賃貸住宅制度等の充実を望む。
69	障がい者や高齢者が買物等をしやすい、優しい町にしてほしい。
70	生活困窮にある人に対して、相談窓口や保護施設など具体的な支援策が必要である。
71	生活保護について、もう少し具体的に記述することが必要である。
72	青少年活動センターにおいても、人権理解を深める機会を提供してほしい。
73	地下鉄におむつ替えベッド、授乳室を設置してほしい。
74	特に若い人向けの就労支援（マッチングや仕事相談）が必要である。
75	日ノ岡ホッパラ町など区内いたるところに飛び地がある。地籍の整備と飛び地解消を願いたい。
76	歩きタバコ禁止を強化してほしい。
77	話せるまで教えてもらいたいので、手話教室の回数を増やしてほしい。
78	「山科・六地蔵のお地藏さん」を児童福祉のシンボルとして掲げて児童問題に本気で取り組み、宗教界とも連携して解決の方策を考えていけないか。
79	介護の必要な家庭に介護保険サービスが利用できない事情がある。保険料あつても介護なしといった状態がある。
80	介護保険利用者の外出支援の充実を望む。
81	自宅から通って自分で行うリハビリができる場所が増えてほしい。
82	飲食店のバリアフリー対応を推進してほしい。

■基本施策ごとの取組（5 地域のつながり：45件）

整理番号	意見要旨
1	防災訓練にも出ず、町内会にも入っていない人の把握が必要である。
2	4年に1度、区民が様々なテーマで自由に意見を交換する「山科区民サミット」を実施してはどうか。
3	オートロックのマンションが増え、消防団員の募集や防災啓発のチラシの配布が困難で、災害時救助にも支障がある。
4	市中心部に通う大学生も多いので、区内の学生を把握することが困難である。
5	小金塚・藤尾地区の間に、現在は地域のつながりが全くない。以前は属する自治体が異なることに起因して仲が悪かった。
6	地藏盆への参加を促すために、「宗教行事でなく、寄付に基づく地域の行事である」と説明している。
7	「ひと・まち交流館 京都」のようなボランティア団体の活動拠点を区内にも整備してほしい。
8	ボランティアや地域のスポーツ活動等の情報を発信する区民プラザを整備してほしい。
9	山科ユースアクションの支援の具体的な取組を教えてください。
10	薬物乱用の防止に、京都薬科大学の協力を得てはどうか。
11	「こども110番のいえ」が、実際に機能するよう、確認する必要がある。

12	「こども110番のいえ」は、教育主導ではなく地域主導とすべきである。
13	「常に人の目がある」という安心感を、地域に広げたい。
14	サル、イノシシ、アライグマなどの有害鳥獣対策を含めるべきである。
15	のらネコに餌をやり、周囲が迷惑するなど、動物愛護マナーの問題への対策も必要である。
16	暗い所が多く、防犯のためパトロール等が必要である。
17	区民の防災意識向上のために、防災知識等に関する学習会を積極的に開催してはどうか。
18	犬の飼い方のマナーが悪い。犬税を導入して、動物管理・愛護活動の財源としてはどうか。
19	孤独死を防ぐ上で、昔はおかしいと思ったら鍵を壊してでも入ったが、今は、物理的にも法的にも難しい。
20	公園に明かりがほしい。
21	高齢になっても、安心して暮らせる山科であってほしい。
22	三条通で南北に分断されている陵ヶ岡学区については、防災上の対策が必要である。
23	山科盆地は一目で見渡せ、行政の一つの単位と考えられる。山科区と醍醐支所管内の合併を検討されたい。
24	自営業者の減少などによって、昼間の災害時等に駆けつけられる人が減っている。
25	若い母親が孤立しがちであるので、地域とのつながりをつくっていくきっかけが必要である。
26	住んでいる場所によっては、東山区の避難場所の方が近い人もいるので、行政区を越えた災害対応策が必要である。
27	将来の消防団員確保のため、子どもたちに団への親しみを持ってもらえるよう、まつりなどにおいて努力が大切。
28	消防団への新規入団は、各種地域活動との関係を考慮して、十分に気を配る必要がある。
29	消防団へ若い人に入ってもらうためには、オープンな雰囲気づくりが必要である。
30	大災害、健康被害、環境汚染による被害、動物による被害など、危機管理の強化について、第一に重視されたい。
31	地域で起こる様々な事件に消防団だけで対応することは難しい。民生児童委員、福祉委員等の協力が必要である。
32	定住しない住民、国籍問題などがある中、どのように消防団への勧誘をするか。
33	動物愛護マナーについての記述が必要である。
34	鳩や野良猫が多い。
35	犯罪が少ないまちになってほしい。
36	暴力団関連の事件が多いので、取締り強化と検挙に努められたい。
37	有害鳥獣対策についての記述が必要である。
38	まちづくり取組等に参加した区民が、継続的に区のサポーターとして活動できるような仕組みを作ってほしい。
39	住基カードによる、コンビニでの住民票交付サービスを実現させるべきである。
40	選挙時の投票場所として、山科・東野駅の地下を活用してはどうか。
41	区民と行政は対等なパートナーである。こうした認識や基本姿勢を明らかにする項目を追加してほしい。
42	大津市の藤尾・追分地区は、京都市山科区に編入する方が、市民サービスの提供につながると思う。
43	地域の福祉力が求められる時代になる。プライバシーに配慮しつつ構築できる互助関係などが必要である。
44	高齢者福祉に関わる人たち（民生委員、老人福祉員、ボランティアなど）同士の情報交換を進めたい。
45	高齢者に限らず、多様な世代が訪れるサロンのようなものが身近にあればいい。

■計画の推進（7件）

整理番号	意見要旨
1	市職員は、職場、また、積極的に地域の役割を担う中で、計画内容を広く区民に伝えるよう努められたい。
2	整備等にあつては、調査を入念に行い、若者の意見を聞くなどのプロセスを重視する必要がある。
3	施策に具体的な目標を設定し、予算や人材の面で、達成が不十分な場合の対処策を想定されたい。
4	地域の行政組織においても、組織効率の観点からの評価等が必要ではないか。
5	今後の進ちょく管理について具体的に示してほしい。
6	半期を目途として、計画の見直しが必要ではないか。
7	「新・山科区基本計画」に基づいて、「誰が何をするのか」などが盛り込まれた行動計画が必要である。

■その他（7件）

整理番号	意見要旨
1	「山科なす」についての説明が必要である。
2	もてなすくんの背中” まっせ” の意味がわからない。

3	策定委員会の際にペットボトルで飲料を用意しているようだが、エコではないので改められたい。
4	山科に住み続けたいと思う。
5	思ったより多くの活動があることを知った。
6	素案は町内回覧で読んだが、一読するだけで精一杯。住民意見を本気で聞くつもりと思えない。
7	卒業しても山科に住み続けたい。